

二〇二五年度 指定校、関係校、教育連携校、付属校(専願方式)推薦入学試験問題

(文学部 全学科・専攻共通)

(科目名:小論文)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

2024年12月1日(日)

次の文章を読んで、問一・問二に答えなさい。

【引用部分は削除しています】

(出典：平川京美『脱地震で考える―世界の観念を抵抗する拠点』ちくま新書(二〇一九年)

〈出題者註〉(1) 西城高原：正しくは西条高原。おおむね現在の広島県東広島市域に相当する。

(2) 二〇二三年の出生数は七二万七二七七人(政府統計)。

問一 傍線部①に関して。宮本常一が出会った石工の仕事に限らず、筆者のいう「あとから来るもの」とのコミュニケーションは、人間のさまざまな営みについて、ひろく当てはまります。今日までのあなたの経験、あるいは今後の学びや人生設計に即して、四〇〇字以内で具体的に説明しなさい。

問二 傍線部②に関して。筆者のいう「右肩下がりの時代」とは、どのような時代ですか。また、「右肩下がりの時代」における社会や経済、私たちの暮らしは、どのようなものに変化していくと考えますか。六〇〇字以内で具体的に述べなさい。